

2020 年 10 月 16 日

12:15

大会事務局

公式通知 No.12

MFJ カップ JP250 選手権宛

下記の通り、ライダーズブリーフィング資料を公示する。

2020MFJ カップ JP250 選手権 第4戦 ブリーフィング資料

【1】走行時の注意について

- 1) 走行時は必ずヘルメット・リムカバー・システム・背板パッド・チェストガードを着用してください。
- 2) スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行し、この際に各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して追突等がないように走行してください。
- 3) ピットレーンでは60km/h以下で走行してください。
- 4) 予選時間は25分間です。
- 5) 走行前・走行中は、45番ピット横ゲートからのみピットレーンへの進入が可能です。また、予選／ウォームアップ走行等出走前にファストレーンで待機する場合は、ライダーが乗車しすぐに出走できる体勢でいてください。スタンドを掛たり、タイヤウォーマーを装着することは禁止します。
- 6) チェッカー後ピットレーンを通過して、第2パドックゲートより直接第2パドックへ出て頂けます。

【2】フラッグ・シグナルの運用について

- 1) 原則全てのフラッグが振動表示されます。
※詳細は、2020MFJ国内競技規則で確認してください。
- 2) チェッカーフラッグはメインポスト内から提示されます。
※補助の目的で、メインポスト下のピットウォールからも提示されます。
- 3) コースインシグナルにブルーの点滅が追加されています。
※ブルー点滅時は、本コース上を通過する車両があります。
- 4) スタートディレイの合図は、フラッグタワーで赤旗が振動表示されます。
- 5) チェッカー旗提示後の黄色旗運用について
走行終了時にチェッカー旗提示後、コントロールラインを最初に通過したライダーに合わせて、各ポストで黄旗の1本静止が提示される。
チェッカー後の黄旗提示目的は、プラクティスセッション（公式予選等）、決勝の終了時にチェッカー旗の見落とし、ダブルチェッカー防止のため、チェッカーを受けたライダー（トップから）に対して各ポストでサービスマンフラッグとして「黄旗の静止提示」を行う。ただし、予選終了直後に複数台の固着状態でチェッカーを受けた場合は、黄旗の静止提示は状況を見て運用を行う。

【3】公式予選について

予選基準タイムについては、2020MFJ国内競技規則「付則5 7項 公式予選」および「付則6 3項 3-4」に基づき、クラスに関わらず、予選の上位3名の平均タイムの108%以内となります。

【4】決勝スタート進行について（スタート進行表をご確認ください。）

- 1) スタート前チェックは以下の通り実施いたします。
時間：14:45～15:15
場所：公式車検場
※スタート前チェック終了後は、第2パドックで待機をお願いいたします。
※サイティングラップコースインのためのピットレーンへの移動は、45番ピットボックス横ゲートからになります。
- 2) レッドライトが点灯してから消灯するまでの間に前進したら JumpStart と判定します。
（一旦前進してから止まっても有利不利に関わらず JumpStart と判定します。）
※前の選手につられて飛び出さないように注意してください。
- 3) JumpStart のペナルティはライドスルーペナルティ（原則）あるいは競技結果への30秒加算とします。
ライドスルーペナルティについては、『RIDE THROUGH』の文字の下にゼッケン番号を記した一体型の黄色のボードがフラッグタワーと8番ポストから提示されます。

【5】表彰式について

表彰式は、グランドスタンド正面の特設表彰台で実施いたします。

以上